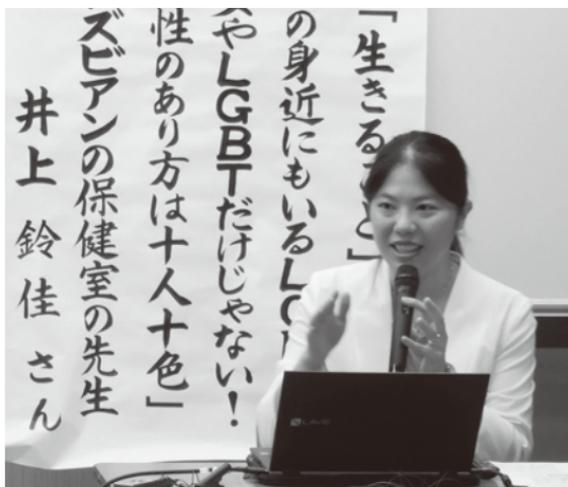


井^{いの}
上^{うえ}
鈴^{すず}
佳^か

あなたの身近にもいるLGBT

く男女やLGBTだけじゃない！性のあり方は十人十色



プロフィール

中学校・高等学校の保健室で勤務中、とある生徒との出会いにより自身がレズビアンであることに気づく。現在は講演活動の他、子どもたちへの特別授業など、LGBTと性の多様性に関する出張授業を精力的に行っている。

○司会 ただいまより、二〇一九年度講座「生きること」の第二回目を開催したいと思います。本日はお忙しい中、ご参加いただきまして、誠にありがとうございます。

それでは、本日お招きしました講師、井上鈴佳さんのプロフィールをご紹介します。

井上鈴佳さんは、大阪教育大学を卒業後、三年ほど中学校・高等学校の保健室で勤務。とある男子生徒との出会いがきっかけで、自分自身がLGBTの「L」、レズビアンであることに気づきます。現在は、お住まいの大東市の教育現場で講演活動を行うほか、教職員向けの研修会で講師を務めるなど様々な場でご活躍されています。夏休みは一日で二件の研修をこなした日もあるほど、非常に精力的に活動されていらっしゃいます。

今回は広報紙、チラシなどにも掲載しておりましたが、大きな保健室に来たような気持ちで、この講座にご参加いただければと思います。

それでは井上鈴佳さんをお迎えしたいと思いますので、拍手でお願いいたします。井上先生、よろしく願います。

○井上鈴佳 皆様、こんにちは。本日は貴重なお時間をいただきまして、こうしてお話に耳を傾けていただけるということで、本当にありがとうございます。

本日は、枚方市の近くにある大東市から参りまして、こちらでいろいろお話しさせていただいたらということでした。

まずは、私の簡単な自己紹介、先ほどご紹介いただいた内容になってくるとも思うんですけれ

ども、もともと中学校と高校のほうで保健室の先生として働いておりました。保健室の先生、養護教諭ということで、免許も今もまだ持っていますので、今日はこの会場は大きな保健室だと思っただけだっただけらしいなと思っっています。

質疑応答のとき、「もうこんなこと言うたら当事者の人に失礼かな」とか、「こんなん言うたら怒られるんちゃうかな」と感じられる方もいらっしやるかもしれないんですけども、この場だけの話ということで、言葉を間違えたとか、もう何も気にせずに、何でも気軽に聞いていただけたらなと思っております。

ただ、この話の内容についてなんですけれども、例えば学校の先生でしたら、教え子の方が亡くなっていたり、すごくつらい経験をされている方もたくさんいらっしやいますので、ちょっと聞いてほしいなと感じられる方がいらっしやいましたら、この会場のところから、いつでも休憩をとっていただいたり、戻ってこられたりとか、皆様のご無理のないような形で参加していただけたらな思っていますので、どうぞよろしく願います。

本日は、LGBTと性の多様性について、いろいろ授業で行かせていただいている活動で、主に小学校さん、中学校さん、高校さんなどなど、子どもさん相手のお話で授業をさせてもらった、今は保健室の先生ということで働いているわけではないんですけども。あと、夏休みみだつたら、教職員研修会で枚方市の小学校さんとか中学校さんとか、いろいろ回らせていただいたりしておりました。

本日は、「生きること」ということで、自分主体で話すということなんですけれども、言葉の説明が割と多かったですので、あんまり自分主体で話したという機会がなくて、うまく話せるかわからないですけれども、皆様にも身近な人でも、こんな人いてるんやなということを、まずは身近に感じてもらえたらなと思っております。なので、スライドも全部完璧に説明するというよりは、いつも研修会だったり、教職員研修のときにお配りさせていただいてるような資料になってきますので、後で言葉のことだったりとかはご覧いただけたらと思っております。枚方市さんのパートナーシップ宣誓の手続きの書類も印刷していただいていますので、そちらのほうも、また話が終わった後にでもご覧いただけたらなと考えております。

このLGBTであったり、セクシュアルマイノリティー、性的少数者みたいな言葉が、よく新聞、ニュース、雑誌なんかで出てくるようになってはきたんですけども、LGBTという言葉の意味は大体知ってるよという方は、今日はどのぐらいいらっしゃいますでしょうか。はい。今日は、言葉は聞いたことあるよっていう方が多いかなと思います。なので、言葉の説明は、本当に資料のほうをご覧いただけたらとは思いますが、セクシュアルマイノリティー、ぱつと片仮名だけご覧いただいたときに、どんなことをイメージしてただけるかなと思いましたが、よく学校の現場で言われるのは、「性同一性障害の話とか」と言われることは多かったです。芸能人の話と感じられる方もいらっしゃるかもしれませんが、同性愛のことかなって思われる方もいらっしゃる。テレビに出てくる人のイメージっていうのは、まだまだ強いかなと自分でも感じてます。

LGBT、言葉は習いました。じゃあ、その人に次、来てもらいますって授業で言ってもらいましたら、子どもたちからは、「マツコ・デラックスさんみたいな人、来るんちゃうん」っていうふうに予想をしてくれたりしています。私が、ぱっと前に出ていくと、「えっ、ほんまにこの人」って、大体、二度見をされるんですけども、感想文も後でよく書いていただいたりもするんですが、一番多いのは、「意外と普通の人でした」って書いてくれています。なので、まだまだテレビの、何か特別な人といったイメージが強いかなと感じています。

今日、お集まりいただいてる方からしたら、「LGBTの話ね」だったり、「LGBT系の話ね」って感じられる方も多いのではないのでしょうか。今日の講座では、私たちセクシュアルマイノリティは、私の話を通じて、周りの人とそんなに変わらないんだなと思ってもらったり、身近に感じてもらえたらとは考えているんですけども、LGBTやいろんな性のあり方、大事にしていきましょねっていう世界中で使われてるマークで、「レインボーフラッグ」というマークがあります。六色の虹のマークをあらわしているんですけども、虹というところがポイントになっておりまして、本物の虹をご覧いただきましたら、ここからこの部分の人が一〇〇%レズビアンということが決まっているわけではなくって、ちょっとずつ色合いが違ってるところからこそ、きれいな虹になっているっていうところから、一人一人の性のあり方を大事にしていましょねということ、虹のマークが使われています。

私が住んでいる大東市では、「ダイトン」というオリジナルキャラクターがいるんですけど

も、最近、市役所の人が、「ダイトンがレインボーフラッグをつけているシールつくったで」って言うてくれました。大東市内の小学校さん、中学校さんには全部配られているシールなんです。が、よく職員室に張ってくださったりして、職員室で先生に相談してもいいよっていうマークとして、市役所の人がつくってくれました。私も缶バッジでいただいでつけているんですけど、ただ、このマークをつけていたら、自分のことがばれてしまうんじゃないかなということ、つけたくないっていう方もいらっしやいます。感じ方も人によって違ってきますし、一人の感じ方なんですけれども、私だったら、この六色のマークを見たら、あ、この人はちゃんと理解してくれてるのかなって、少し安心できるようなマークにもなっています。

私にはパートナーがいて、パートナーはトランスジェンダーの人なんですけれども、先日、そのパートナーと一緒に転入手続きで役所に行ったこともあったんですが、大東市は、市役所窓口のところにもダイトンのシールが全部張られていて、職員研修もしてくれているので、転入の手続きをしたときに、「一緒に住まれるんですか？」と、窓口の人が何の違和感もなく話をしてくれたのがすごく印象的で、すごく良かったなというか、そんなのがすごくうれしくて感じているところでもあります。

枚方市さんのほうも、六色の虹のマークを使っていたいたり、パートナーシップ宣誓もしてくださっていて、今、大東市でも頑張っているところなので、もうちょっとしたら、多分いい報告ができるのではないかなと考えています。

マイノリティーとマジヨリティー、セクシユアルマイノリティーって片仮名で言っても、ちょっとややこしいなって感じられる方が多かったですけれど、マイノリティーの少数派っていう言葉と、マジヨリティー、多数派っていう意味合いがあつたりします。セクシユアルマイノリティー、性的少数者とか性的少数派と、日本語で表現されることがあります。現在の社会の中で、これが普通とか、こうあるべきだと思われている性のあり方に当てはまらない人たちのことをまとめて指す総称として使われていたりします。言葉の説明はいろんな研究者によつて多少変わつていたりもするので、参考程度でとは思うんですけども、よく話で聞くLGBTという言葉、最近では知ってるよという方も多いんですけども、LGBT以外にも、例えば私の友達で、アセクシユアルという性のあり方を教えてくれる友達もいます。恋愛感情や性的な感情を誰に対しても抱いたことないよとか、あんまり感じたことないんですけど教えてくれる友達もいます。アセクシユアルって言ったりします。

LGBTとか、アセクシユアルとか、ほかにもいろんな性のあり方があるんですけども、あるアメリカのSNSでしたら、性別欄は七〇種類から一〇〇種類ぐらいの中から選べるっていう時代もありました。今は七〇とか一〇〇じゃなくなっています。それでは全然足りないからということになりました。今は自由記入という形に変更されていたりします。だから、この言葉について完璧に覚えるっていうよりは、七〇とか一〇〇とか、全部完璧に言えるわけじゃないけれども、でも、あなたが何かそれで困ってるんやったら、いつでも相談に乗るでって言っていただけ

る、そんな人が周り中にいたら安心して過ごせるんじゃないかなと思っっています。

実際、私も時々、LGBTの特集をするときに、大東市報に載せていただいたりすることもありますが、マンションに住んでる、私が小学校一年生のころから知ってるよって言ってくれる近所の人が、「鈴木ちゃん、載ってるの見たで」って持ってきてくれたりするので、そういう人たちが周り中にいてるから、私は今の東大市に住み続けたいなって感じる事ができてますし、そういう人たちが、少々言葉を間違っていたからといって、それで何かすごく関係性が悪くなるっていうよりは、間違ってるところは、こう言ってもらえたらうれしいですっていうのを聞いていただけたら、それで十分なんじゃないかなとは思っています。

そうはいつでも、最近よく出てくるのはLGBTっていう言葉なので、簡単に言葉の説明だけに映させていただきました。私は、LGBTというと「L」のレズビアンというところに入っています。自分のことを女性だっというふうに感じていて、好きになるのも女の人のことが好きになるって、自分の中で感じていきます。ただ、私は、自分がレズビアンだっって気づいたのは、二四歳になってからでした。それまで私は、もともと小学校、中学校とか、すごく真面目な子ども時代を送っていましたので、まだ保健の教科書を見ると、同じような感じで書かれていますけれども、男の人と女の人、異性のことが好きになりますとか、異性のことが気になりますっていうような文章が、小学校三、四年生の教科書から載っています。真面目な子ども時代を送ってましたので、私は異性のことを好きにならなアカンっていうので、そう思い込んでおりましたの

で、自分がレズビアンだって二四歳で気づくまでの間に、大体六、七人ぐらいの男の人とつき合ったことはあります。一気に六、七人じゃなくなつて、一人ずつつき合つていったんですけれども、笑つてもらつても全然大丈夫です。そんなのでこの場で怒つたりしないですし、この場では言葉とかも間違つても大丈夫なので、私の場合は、そんなふうになら六、七人ぐらいつき合ったことはあります。

ただ、不思議やなつていうこともありまして、六、七人ぐらい男の子とつき合つて、じゃあ、つき合つている男の子と一緒にデートに行く、例えばU S Jでデートするとなつてくると、私はデート中、つき合つてはるはずの男の子との間、絶対に近寄られないようにかばんでガードをしていました。さらにキスされそうだったらダッシュで逃げるみたいなことを二四歳まで延々繰り返しておりました。自分が何でそんなことしてるかわからずに。今思つたら、自分でもおかしいなとは思つてるんですけれども。今はレズビアンつてわかつていますが、二四歳までは男の人とつき合なあかん、そのうち結婚するのは男の人で、赤ちゃん産んで育てて、みたいな人生設計をイメージしてましたので、私は男の人とつき合なあかんつていので、つき合つてみるけれども、逃げていくみたいな、すごく変な感じでしたなつて思つています。

でも、違和感みたいなものだけは、よくよく思い出してみたら、小学校の高学年ぐらいからは気づいていたのかなと思つています。小学校の高学年ぐらいから、ジャニーズの中で誰が好きつていう話題に全然ついていきませんでした。例えば、嵐の中で誰が好きつて言われたら、ええと、

相葉君ってこの子やったかなみたいな感じの、そんな感じの子ども時代は送っていたと思います。小学校、中学校、高校と、私はずっと剣道をやっていたんですけども、中学校のときには、剣道部の女性の先輩ですごくすてきな先輩がいらっしゃいまして、夜、寝たときには、その女性の先輩とつき合っている夢は見ていました。あ、これは夢の中の話や、自分は男の子とつき合わないあかんっていうふうにずっと思っていましたし、大学に入っても、養護教諭養成課程で保健室の先生を目指すために勉強していたら、男の子の体つき、女の子の体つきっていうふうに分かるようになるってなったら、同性愛について学ぶ機会があったかと考えたときに、なかなか私は、学ぶ機会があんまり思い出しでもなかったようなイメージがあります。なので、男性と女性の恋愛は保健の授業で教えるってなっても、なかなか同性愛っていうところまでは知ることがなかったのかなって、そんなこともあって、二四歳まで気づかなかったって自分の中では感じていません。

この気づく年齢っていうのは人によって違ってきます。例えば、トランスジェンダーだって教えてくれる友達でしたら、もう三、四歳ぐらいのころから気づいてたよって教えてくれる友達もいます。幼稚園とか保育園に通っているときにも、自分の心の性のほうでトイレに行こうとしてたら、こっちでしようって違うほうのトイレに連れていかれて、すごく嫌な経験したって教えてくれる友達もいたりするので、気づく子はそれぐらいのころから気づいてる、物心ついたころから気づいてるよって教えてくれます。そうかと思えば、六〇代とか八〇代ぐらいになってから

気づきましたっていう方もいらっしゃいます。

性のあり方っていうのは、生まれてから亡くなるまで、ずっと一緒かというところ、途中で変わる方もいらっしゃいます。まだ考え中ですっていう方も、揺れ動いている最中ですよっていう方もいらっしゃいます。揺れ動いている最中の方、自分のことをクエスチョニング、Qの文字で表して教えてくれる人もいます。まだ考え中ですっていう方も、子どもたちの中でもたくさん出会ってきましたし、子どもたちもまだ考え中っていう、悩んでいる最中ですっていうのも、自分のことを考えるすごく大事な時間なので大事にしてもらいたくなっていうことは、授業の中でも伝えていきます。

トランスジェンダーって一言で言っても、いろんな表現の仕方をされる方がいらっしゃるの、ご自身のこと、MTFとかFTMとか、FTX、MTXっていう表現を使われる方がいらっしゃいます。詳しくは資料もご覧いただけたらと思うんですけども、Xのところ、ちょっとややこしいなって感じられる方は多いかなと思っています。

うちのパートナーは、このXっていうところに当てはまっているって教えてくれました、うちのパートナーの場合、Xジェンダー、人によっていろんな感じ方があるんですけども、Xジェンダーだって教えてくれる友達、日本でよく使われている表現になります、自分のことを男性と女性の両方に感じていますっていう方だったり、男性にも女性にも感じてないんですけどいう方だったり、その中間で感じてますっていう方もいらっしゃったり、男女以外の性で自分の

ことを感じてるんですって教えてくれる方もいらっしやいます。うちのパートナーの場合は、FTXっていうところに入っています。自分の体つきは女性的って言われてる体つきですし、特にそれから手術しようっていうことも感じてるわけではないんですけれども、心の部分で言ったら体は女性だけでも、心は八割ぐらいは男性かな、男なんかなって教えてくれてるパートナーとつき合っています。でも、二〇%ぐらいの女性的なところもあるかなって、うちのパートナーの場合は教えてくれてるので、私はパートナーのことを呼ぶときに、「君」の名前と「ちゃん」の名前の二つを日によって使い分けています。「君」で呼んだほうがいい、「ちゃん」で呼んだほうがいいみたいな、ふだん気にしてるのって、それぐらいかなって思いますし、私はトランスジェンダーだからとか、Xジェンダーだからパートナーとつき合っているわけでもありませんので、パートナーとつき合うのにセクシュアリティ、性のことを考えるっていうことはそこまで普段からしてるわけじゃない。二四時間、三六五日、それを意識してっていうわけではないんですけれども、八割ぐらい自分の心は男性かなって教えてくれてる。パーセンテージは日によって変わるんですけれども、そんなパートナーと一緒に生活しております。

二人とも女性二人って書類上は扱われていますので、女性二人で、結婚したいですって婚姻届を役所に持っていったとしても、女、女って婚姻届に書かれていたら、不受理という判こを押されて、返ってきてしまいます。というので、私はパートナーと婚姻届出せるかというところ、受け取ってもらうことは難しい。枚方市さんは、もう既にパートナーシップ宣誓制度も導入されてます

ので、パートナーシップ宣誓書受領証を出せるんですけれども、大東市は、まだもうちょっと時間がかかるかなって感じなので、その宣誓書受領証ができるまでは、まだ家族としては扱ってもらえない、でも、六月から一緒に生活はしていて、二人で仲よく過ごしています。

トランスジェンダーはトランスジェンダーでも、自分のことを表現するときに、トランスジェンダーっていう言葉と、あと、性同一性障害っていう言葉を教えてくれる方もいらっしゃいます。トランスジェンダーの方、自分の性別、体と心がびったり性別合わへんねんって教えてくれる友達、トランスジェンダーっていう表現をされていますが、その中でも病院に行って診断を受けたときに、性同一性障害という名前はついたりします。疾患名として使われていたりするので、性別違和だったり、性別不合って書かれるときもあつたりします。診断を受けたときに、精神療法という方法、カウンセリングのことになってきますけれども、こういう方法を選ばれる方もいらっしゃれば、ホルモン療法、体つきが変化していくときの注射、男性に多いって言われているテストステロンだったり、女性に多いって言われているエストロゲンとかを注射する方法を選ばれる方もいらっしゃると思います。外科的療法、性別適合手術っていうような方法、手術を望んでもいいと思います。

望んでも方も望まれない方もいらっしゃいますし、うちのパートナーの場合は、手術はしたくないよって教えてくれたり、ホルモン療法は注射痛いし嫌やって言ってますので、全員が全員、

全部の方法を選ぶわけではないです。この手術をして、卵巣とか精巣、健康な体、器官にメスを入れたりして、臓器摘出みたいに取り除いてしまうような方法をしていないと、日本の今の法律では、戸籍の男と女を変更することができなくなったりするので、手術をされる方もされない方もいらっしやるんですけれども、日本では、その手術要件が残っているっていうことから、うちのパートナーは、今のところは戸籍上は女性として扱われている状態になっています。

どれぐらいいるのっていう人数のことについては、いろんな数値が出ているんですけれども、左ききの方とか、A B型の方とか、あとは名字が佐藤さん、鈴木さん、高橋さん、田中さん、伊藤さん、渡辺さんという人を全部足した人数よりも多いんちゃうみたいなこと言われてたり、意外と人数としては多いんちゃうかなって言われることがあつたりします。実際は、いてないわけじゃなくて、言っただけだったりとか、見えてないだけなんですけれども、意外と多いなって言われることは多いです。オープンにしてる人っていうのは、本当に氷山の一角ぐらいなので、言ってる人もいれば、言いたくないっていう方もたくさんいらっしやいます。言ってるから偉いっていうわけでもなければ、言わなきゃいけないっていうわけでもないです、この言うてる人も言わない人もいるんだけれども、私の友達でも、同級生で三人ぐらいは自分のほかにもセクシユアルマイノリティーと教えてくれてる子がいてるんですが、その子たちは、周りには絶対知られたくないって教えてくれる子がほとんどかなって、そんな印象を受けています。

授業の様子もいくつか紹介をさせていただきますと、授業が終わった後に、必ず個別の相談の

時間をとっていると、本当にいろんな子が来てくれますが、その子たち、大体一回授業すると、一人ぐらいは自分のことをLGBTだったり、セクシユアルマイノリティーやって教えてくれる子がいてるなっていう印象です。

私は、いろんな友達のことを紹介していく、友達紹介みたいなのを前半でしてまして、後半が、何でも質問コーナーっていう形にすると、本当にいろんなことを聞いてくれるので、そういうふうに普段からいろんな子どもたちと触れ合っているのが、今はすごく楽しいですし、私はレズビアンとして生まれていなかったら、今、子どもたちと出会うこととか、これだけ大きなところで話しをさせてもらうとか、なかなかないかなっていう印象ではありますので、私はそんなふうにして生んでもらって良かったなと感じたりもしています。

授業を受けた後に、生徒さんからメールいただくことだったり、メッセージをいただくこともあるんですけども、授業を受けた後に自分がそうかな、当事者かなっていうふうな性的なことを感じたときに、自分のことを否定せずに済みましたっていうメールをいただいたり、そういううれしいメッセージを送ってくれる子どもたくさんいますし、子どもたちがここに笑顔で過ごしている日本に、ちょっとでも貢献できたらなっていうのを今の仕事にしているんですけども、最終的には、LGBTとかALLYとか、そういう言葉も使わなくてよくなったらいのになんか感じています。

パートナーとのこともいくつか紹介をさせていただいています。写真のほうでは、道後温泉に一

緒に行つてるときの様子を紹介させていただきます。二人とも温泉めぐりが好きなので、二人でよく温泉旅行に行ったりするんですけど、私もパートナーも二人とも体つきは女性二人になりますので、女風呂に二人とも入れます。というので、この写真では道後温泉に行つてますが、この近くの温泉もいろいろ行ったりしてるので、もしかしたら、私たちのことを見たことあるよつていう方もいらつしゃつても、全然おかしくないんじゃないかなとは思つています。

岩盤浴もよく行つたりするんですが、うちのパートナーが一人で岩盤浴に行きますと、男性用の青色の服と女性用の赤色の服を、半々ぐらいの可能性で渡されるらしいです。青色を渡されるとちよつとうれしいつていう話もしてくれています。自分の八割の男の部分伝わったんかなつて教えてくれたりもしますけれど、さすがにあかんよなつて、赤のほうに変えてもらつてるそうです。そんなふうに岩盤浴だつたり、温泉とかいろいろめぐつたりしています。

パートナーの場合は、見た目からしたら、性のあり方もXつていうことを教えてくれますし、男性としても女性としても扱われることがあつたりしますので、トイレのこととかお風呂のことつて、トランスジェンダーの子とか困りやすい場面やろうと言われているんですけど、うちのパートナーの場合も体は女性なので、トイレは女性のほうに行つてたら、「お兄ちゃん、こつちやで」つて、男性用のトイレに連れていかれそうになつたりして、トイレに行けないことも何回かあつたみたいな話をしてくれます。三割ぐらいのトランスジェンダーの方、トイレを我慢し過ぎで膀胱炎になつたり、病気になつてしまふやろうつて言われていますので、そういうところで、例

えば誰でも入れるトイレだったり、駅にある車椅子のマークが書いてるようなトイレだったら、どっちでも入れるから入れるかなっていうので、トランスジェンダーの友達が行ったけれども、後でトイレから出たら、車椅子を押していらっしゃる方に、何でこのトイレを使ってるのって言われて、結局どのトイレも行けなくなったという方もいらっしゃったりします。

いろんな性のあり方があるし、そのトイレしかなかなか使うのが難しいという方もいらっしゃるといふことも、ちょっと知つといてもらえたらうれしいなと感じています。

こちらが、沖縄のほうで、青の洞窟っていうところで一緒に泳いでいるときの様子です。うちのパートナーは、女性用の水着がとても嫌だということを教えてくださいますので、小学校とか中学校とか、プールに入れてなかったらしいです。今は半ズボンみたいな感じのプールの水着になつていきますので、これやつたら入れるっていうので、二人で楽しく泳いでいます。

水着のこと、例えばトランスジェンダーだと教えてくれる子どもさんでも、ラッシュユガードが一枚あれば、みんなと一緒にプールに入れるよという子もいたりしますので、どうしたらいいかなって、もういろんなところでつまずくとき、ちゃんと相談に乗ってくれる大人の人がいたら、気持ちって全然違うんじゃないかなと感じています。

こちらの写真が、大阪市内のほうにお住まいのレズビアンカップルさんで、大阪市でパートナーシップ第一号になっていらっしゃるレズビアンカップルさんのおうちに、遊びに行かせてもらったときの写真です。こちらのレズビアンカップルさん、女性二人で生活していくとき

に、日本だといろいろ困りごとがあったりするんですけども、そういうときにいろいろな対応の仕方だったり、私たちもそのカップルさんに教えてもらったりっていうので、すごく仲よくさせてもらってるカップルさんです。

お二人が一緒に住まれるってなったとき、例えば女性二人で家借りたいですってなったら、女性二人だったら、同性同士お断りみたいな家もあったりしますので、賃貸でも家借りるのがちょっと難しくなるっていうことも言われたりしています。パートナーシップ証明書があると、ちょっとはましかなくて言われてますし、大東市の市の職員さんも、パートナーシップ条例はもう少し時間がかかるんですけども、でも、パートナーシップ条例の前にいるんな不動産屋さんだったり、病院とかに順番に回ってくれたりしてて、ちゃんと同性のパートナーもいるということを知ってくださいねっていう発信もしてくれてるので、恐らく大東市内ではそこまではないのかなとは思いますが、レズビアンカップルさんに話聞いてみましたら、ここの家借りたいんですって話したら、大家さんからすごい電話があつて確認をされてしまったとか、そういうような経験もいろいろ教えてくれています。

二人で家を借りて住むってなっても、一人の名義で家を借りていて、もう一人と一緒に住んでるっていう形で生活をされてる方、今は同性同士のカップルで相手に遺産を残すとかもなかなか難しい状況になっています。例えば、家を借りてるほうの方が亡くなってしまったとしたら、ペットから荷物から全部、その亡くなってしまった方の家族のほうに回収をされてしまって、自分

には何も残らなかつたっていう方もいらつしやるっていう話も聞いたりします。あとは、家借りるのも大変だし、遺産残すのも大変だしっていうことになると、住む場所とかいろいろ困りごとを教えてくれるカップルさんが多かつたりします。というので、このレズビアンカップルさんの場合は、中古の一軒家を購入されて、今、DIYをされながら過ごしていらつしやるそんなんですけれども、何かあつたときに相手に残せるようにって、いろいろ生活の中で工夫を教えてもらつてるお二人の様子です。

このお二人は、今、わんちゃん二匹と猫ちゃん二匹を飼っていらつしやるんですけれども、このカップルさんは動物病院の副院長先生と看護師長さんをされていらつしやるので、このお二人の場合は、そういうふう困つてるわんちゃん、猫ちゃんをもう家で飼っていらつしやつて、このカップルさんともよく話したりしています。安心して子どもを産んで育ててという選択肢が、もしも日本でとることができたんだつたら、そういう選択をすることができたらうれしかったね、といった話をすることもあります。同性のカップルもそうですし、異性間のカップルもそうです。子どもも持ちたい方も、いや、子どもを持つという選択はしたくないという方、生むっていう選択をしたくないっていう方もたくさんいらつしやるのは事実なので、一概には言えないんですけれども。

私の場合は、子どもが好きで保健室の先生になった。でも、私がレズビアンだつていうことに気づいてから、日本で安心して、同性二人で子どもを産んで育てるという選択が、難しい状況

にあるっていうのを知ったのが、一番ショックだったなって感じています。

海外だったら、同性同士でも、例えば海外のドラマとか見てましたら、同性のカップルさんがそろそろ新しい家族を迎えようと思うんだみたいな表現もいろいろあったりするんですけども、日本ではその選択肢自体がまだできてないのかな。少なくとも安心して病院でそれを受けられるかっていったら、難しい状況にあるのが一番ショックやったことかなと感じています。

私たちも子どもを持たらたっていうような話はしてはいるんですけども、里親制度だったら頑張っでできるカップルさんもらっしやることはいらっしやるんですが、かなりハードルが高かったりもしますので、その選択肢もちよっと難しいところがあるのかな。だから、このレズビアンカップルさんのところで働いていらっしやるというか、経営のほうにもかかわっていらっしやる動物病院のほうで困ってるわんちゃん、猫ちゃんがいてたら、将来的に一緒に飼いたいね、みたいなことを、うちのパートナーとは今相談をしているところです。

環境に慣れたら、子どもを産んで育てるといった選択をしたっていう方の話もよく聞いたりするので、これがパートナーシップ条例では、条例止まりで、法律で守ってもらえるかといったら、なかなか難しいところではあるので、そのあたりはクリアできたらうれいなっていう問題かなと思います。

大東市の話をさせてもらったら、広報「だいとう」でこの四人で会話をしている様子だったりとかもインタビューで撮ってもらったり、特集で表紙から五ページにわたってカラーで印刷してく

れたりして、窓口対応もすごく良かったです。大東市に住んで良かったなっていうのは、地域ごとに順番に、自治会というか、一つ一つの集会所を回りながら、LGBTに関するDVDの上映とかも、今進めてくれているところなんです。地域集会っていう名前で、私も時々行かせてもらうんですけども、地域集会するときにも、最初はふたあけてみるまでは、どんな反応があるのかなって、すごく不安ではあったんですけども、実際にいざ話してみると、すごい応援してるわなって、あとで教えてくれる方もいらっしやいますし、ご年配の方で、同性愛って、ちょっと前まで精神疾患の一つやと思われてた方もいらっしやいました。

治療の対象にされてた時代もなかったわけではないので、その時代から生活されてる方からしたら、なかなか難しいところもあるのかなと感じてはいたんですけども、地域集会で回っていたら、八〇代の方が、今の時代は、そういうの受け入れなあかんっていうふうになってるし、私は応援してるからねって話をしてくれて、大東市に本当に住んで良かったなって思える瞬間でもあります。法律とかで安心して住めるかっていったら、まだちょっと難しい状況にはあるとは思うんですけども、そういう周囲の理解を得れてる状況っていうのが何よりうれしいなど。

周りの人、例えば、私はパートナーと一緒に住んでるんですけども、パートナーに何か大きな病気があって入院しなきゃいけないっていうことになって、家族以外の方が面会できませんよって言われてしまったら、私は今、家族としては書類上、扱われていないので、面会することも難しいのかもしれないなどは感じているんですけども、うちの近所にいる人だったら、あ

その病院に入院してららしいなっていうので、ちよつと話をしてくれる人がいるんちゃうかなって、そういうふうな期待を持てるような市だからこそ、今住み続けられてるのかなと感じています。

パートナーが意識ある状態だったら、まだ病院で面会もできるかもしれないんですけども、手術の同意書だったり、サインも同性同士でなったら、ちよつと難しいところがある分、パートナーシップ条例、あとは周りの理解を得ながら、ちよつとずつ進んでいったらいいなと思います。少なくとも草の根みたいな形で周りの人が理解してくださる状況にすこくなってきてるんちゃうかなと思います。

というところで、ここで休憩をとらせてもらいますので、一旦切らせていただくんですけども、休憩時間するときも、いろいろと安心・安全につながるための情報の冊子だったり、広報「だいとう」も幾つか持ってきていますので、よろしければ休憩時間にご覧いただけたらなと思います。直接話しかけていただいてもすごくうれしいですし、ここから五分ぐらいになるまで休憩をとらせていただきます。前半、ご清聴いただきましてありがとうございます。

(休憩)

○井上鈴佳 では、そろそろ、お近くの方、休憩からお戻りでしょうか。後半の話、再開させていただきます。

後半は、あと三〇分ぐらいお話しさせてもらった後は、何でも質問コーナーっていう、授業の

中でもよく子どもたち対象でしてゐるんですけども、質疑応答の時間、先ほどお話しさせてもらったように、何でも聞いてくださいねっていう時間にさせていただけたらと思つています。

このLGBTだったり、性のことをいろいろな話や、自分たちの写真も使いながらお話しさせてもらったんですけども、じゃあ、性を考えたときにどんな要素を考えられるかっていうことも、いろいろな資料に載ってますので、このあたりは一人一人の性のあり方、LGBTとか、その四つだけが特別とか、LGBTQだったら、五つだけ特別というわけではなくって、一人一人違つてゐるんやっていうことは、資料でまたご覧いただけたらと考えています。

当事者の声と教育の果たす役割というので、私がよく活動してるのが教育現場ということもありますので、どんなところで困りやすいかみたいな話にも入っていったらなと思つんですけども、例えば、トランスジェンダーのことに關していえば、先ほどお話ししたように、水泳の話だったり、あとは着替えのこと、トイレのこと、お風呂のことなんかでいろいろと文部科学省のほうからも、対応はこんなふうにしなさいねみたいなのはよく出ていたりはしますけれども、では、LGBT、L、G、B、何困つてんのって言われると、意外と、あれ、何に困つてゐるんやろうっていうのは、特に学校現場だったら、よく先生からも質問していただいたりします。

困りごととして、一番よく聞くのは、クラスの中で、例えば、おかまネタとかホモネタみたいな話で盛り上がりつつあるようなクラスの中で、ゲイの子がいるという状況を想像していただけたら、すぐに思いついていただけるかなとは思つてゐるんですけども、ずっと自分のことを否定されてるよ

うな気持ちになってしまおうということから、からかいの言葉であると、すごくつらい思いをしてるっていう子は多かったです。

私が前につき合ってた女性の方も、自分が中学生のころに女性の方に初めて、クラスの子だったらしいんですけども、女の子に告白をしてっていうふうになったときには、「お前レズやん、きも」っていうふうな話をされてしまって、周り中に広められて、そこからいじめになってしまったっていう話も聞かせてもらったりしています。

周りの環境で全然変わってくるっていうことは、私はそんなことで、気づいたのも二四歳だったので、大人になってからっていうのも一つ関係してるのかもしれないんですけども、でも、自分がいじめられたり、周りの人にすごく陰口をたたかれたりといったことは、私の場合は経験したことがないんですが、一番影響として大きいのは、保健の授業じゃないかなと言われていません。

先ほど、小学三、四年生さんの教科書から、異性のことが気になりますっていう文章が出てくる話をさせていただきました。この教科書の文章を変えてくれっていうパブリックコメント、市民の声もいっぱい集まったんですけども、まだ教科書を変えるっていう一〇年に一度の会議で変わらなかったの、もうしばらくこの教科書で行くような形になってしまっていますので、まだまだ私みたいに惑わされる子というのは、少なくないのかなという印象は持っています。

異性愛前提の話ばかり教科書には出てくるんですが、同性の好きな先輩ができたときには自分

の気持ちがよくわからなかったとか、何か悪いことしてるような気持ちになったって教えてくれる人も多かったです。

私もこの教科書の部分ですごく惑わされたという話はさせてもらったんですけども、大阪の中でも、大東市の中学校で教職員研修だったり、PTAさんのところでお話しさせてもらったときに、中学のとき、異性のことを好きになりますっていうことを保健の授業で教えてくれた先生が、今、大東市のほうで校長先生になっていらっしやるんですけども、時々その校長先生に会う機会がありまして、お会いすると毎回のよう、「異性が好きになるって嘘を教えたん、俺やんな、ごめん」って、毎回謝ってくれます。もう別に、あのときには情報がなかったのでも、別に怒ってないですよみたいな話はするんですけども、でも、先生の中では、すごく心残りだったという話はしていただいて、今は中学二年生でいっつも授業で入れてるからなっていう話はしていただけます。

この教科書の文章、道徳のほうでは、まだ性の多様性のことについて触れてもらえる文章が出てきましたけれど、保健の授業では出てきてないっていう部分もあります。

こういう保健の授業でも習うのは異性愛前提っていうことだったり、周りのクラスのからかいの言葉で出てくる、もしくはトイレ問題とかお風呂問題とか、いろいろな困りごとが出てくるってなったとき、自己肯定感の低下につながるというのが一番大きな影響やろうって言われています。自分のことを受け入れられないとか、本当の自分を出せないっていう方がたくさん

いらっしやいます。

セクシユアルマイノリティーに関する否定的な情報なら、ネットでいくらでも手に入ります。例えば、レズビアンという言葉を検索したときには、ポルノの動画がいっぱい出てきたりとか、あと、ゲイという言葉を検索したら、出会い系サイトは出てきたりはするんですけども、市役所の安心・安全に出してくれてる、今日お配りいただいた資料のようなもの、そこまでたどり着けてた子って、今までほとんど出会ったことがないような印象です。マックス頑張っつて、ユ一チューバーさんぐらいで止まってるかなっていうのが、子どもたちの手にしている情報の限界なのかなって感じたりはしているんですけども、何かその情報だけってなってくると、自分の将来に対して漠然とした不安を抱いてるっていう方がたくさんいらっしやいます。周囲の人間関係や社会制度との摩擦で、自殺念慮、自傷、自殺未遂、不登校といった問題が二次的に生じているというのが大きな問題になってます。ゲイとバイセクシユアルの方、アンケート調査で六五・九%の方が自殺願望を抱いたことがあるっていう数字が出てたり、一四%の方が自殺未遂までしてる数字を見たときに、一四%の人が自殺未遂してしまうこの世の中を、何とか変えなあかんやろうと感じたのが、私が授業を始めたきっかけです。その授業を始めてから、いろんな教職員研修会で学校の先生にお会いする機会もあるんですけども、学校の先生たちの中には、実は教え子がゲイで、自殺してしまっつて教えてくれる先生だったり、レズビアンの教え子が亡くなっつてしまっつてねっつて話してくれる先生とか、本当によく出会います。命の問題にそれだけ直結して

るっていうことは知っておいていただけたらなって思います。

将来のことに關していえば、例えば子どもたちの中でいうと、自分は将来、当事者だって気づいたら、お笑い芸人と水商売につかなあかんのちゃうかだったり、それ以外の性のあり方というか、働き方というのがなかなかイメージつかない子だったり、あとは、新宿二丁目に行かなければ人生変わらないって思い込んでる子もいます。なので、授業の中では、この人は学校の先生してる人なんです、この人は会社の社長さんしてる人なんですとか、そんなふうに、いろんな現場だったり、いろんな職場でいきいきと輝いて生きてる人もたくさんいてるよとか、笑顔で楽しく生きてる人もたくさんいてるよっていうロールモデルが示せたらいいなということで、話をさせていただいております。

つらい情報だったり、悲しい情報がいっぱい出てきてるっていろいろ話でも出てきてる、トランスジェンダーの人、こんなつらい人生を歩みましたみたいなのはいろいろ出てくるんですけども、そういうときに、悲しい情報とかつらい情報なら、テレビの番組で取り上げられたり、いろいろニュースとかドラマも出るので知ってる子が多いんですけども、そういういえば、うちの周りで、大東市に住んでる人でにこにこ明るく楽しく笑顔でしゃべってた人おっただみたいな感じのことを、ちらっと言ってくれる大人の人がいてたら、そこまで思い詰めてしまいう前にちょっと相談するような場所につながれることができるんじゃないかなと感じています。なので、周りの大人の人が味方になるよって言ってくれる状況だったり、そういう情報を少しでも発信し

ていただけたらうれい思っています。

レインボーフラッグの六色のカラーのものを持ち歩いてるよって教えてくださる方もいらっしゃるし、今日は、LGBT・ALLYという、味方ですよというシールも持ってきてるので、もし良かったら、持って帰っていいよっていう方がいらっしゃったら、味方だよって言ってもらってもいいのかなと思っています。

最後はLGBTとかALLYという言葉さえなくなっちゃったらいいなとは思ってますけど、なかなかそこまで一足飛びに行けない状況はあると思うので、クッション材ぐらいかなという印象としては持っています。

でも、誰が味方になってくれるか、誰が攻撃してくるかがわからないのは、外から見ると本当はわからないっていうのをすごく実感したことがあります。というのも、六月からパートナーと一緒に住み始めたっていう話をさせていただいたんですが、一緒に住むってなったときに、エアコンを買おうっていうので、近くの家電量販店に行きました。そしたら、お店の人が、「あつ、ごきょうだいで一緒に住まれるんですね」って話をしてくださって、きょうだいではないし、何て言うかなってすごく迷いました。その後、「ルームシェアされるんですね」って言われて、ルームシェアでもないねんっていうので、二人ですごく目くばせをしたんですけれども、だからといって、その人が理解してくれてるかどうかが外から見るとわかるわけではないので、よし、次から指輪をつけて行くかって話をして、そのときには解決したんですけれども、その人が本当にわかって

くれているのかっていうのが、なかなかわかりづらい状況にあるのは事実なので、何となくスマホの中とかで、ちら見せぐらいの感じで、味方だよって言っといてもええたら、この人やった言うて大丈夫かなみたいなの、市役所だったら、窓口にこんなあったら、この人には言うて大丈夫かなみたいなの、そういう安心感にはなるのかなと思っていきます。

ルームシェアでもないしなみたいな感じの話をしている、困ったこともそうなんですけど、女性二人で指輪を買ってことになったら、アクセサリーショップに行っただとしても、ペアリングのコーナーにはなかなか行かせてもらえないんですね。ペアリングのコーナーじゃなくて、ファッショニングのコーナーに連れていかれそうになるんです。いや、ペアリングなんですみたい感じで、指輪買うときにもちよっと一苦労があったりはするんですけども、中に刻印を入れてもらう、イニシャル入れてもらうってなったときに、イニシャルとイニシャルの真ん中にハートを入れてくださいって言った瞬間に、お店の人が、はあってした顔してました。そこで気づいてくれたんかなとか、そんな感じで、どうしても男性と女性っていうのが前提で、みんな見ている世の中なのかなって思うので、どの人が理解してくれてるんやろうっていうのは、なかなか難しい状況にはあるのかなと思っています。

そういうときに、公の機関でちゃんと言うてくれているところがあるとか、市報でちゃんと市民に啓発してくれてたら、少なくとも大東市に住んでる中では、そんなに変なこと言う人はいないのかなだったり、もし差別的なことを言われたとしても助けてくれる人が周りにいてるみたい

な、安心材料になるのかなと感じています。

新しく出てくる片仮名、二つだけ紹介をさせていただきます。カミングアウトっていう言葉と、アウトイングっていう言葉、この二つを紹介させていただきます。

自分の性のあり方をほかの人に伝えることをカミングアウトって呼んだりします。例えば、私がレズビアンですって、こうやって話するのもカミングアウトの一つになるんですけれども、このカミングアウトって、すごく勇気がいることになってきます。

私は、初めて同い年の友達に自分がレズビアンですってカミングアウトしたときも、親にカミングアウトしたときも、カンペをつくってめっちゃ練習しました。これやったらわかってもらえるかなっていうのを、書いては消し書いては消してみたなので、練習して練習してっていう感じで、自分のことをレズビアンだって話したんですけれども、初めて言った友達は、今まで男性のタイプを聞いてて、ごめんって言ってくれました。そこから先、ジャーニーズで誰が好きじゃなくって、AKBやったら誰がタイプって、話を覚えてくれるようになったんですね。AKBやったらねって話できるようになって、私は二四歳を過ぎてからやっと恋愛の話に入っていけるようになったって感じています。友達にはすごく感謝しています。

親に言うときには、さすがにどう思われるかわからなくなって思いながら、どきどきしながら話をしたんですが、母親のほうは、何となく気づいてたよって言ってくれました。父親のほうは、まだ理解はできてないけど、これから勉強していこうと思ってるって言ってくれました。なので、

私は周りの人に言って、そんなに否定的なこと言われたって一回もないって話をしたんですけれども、本当に周りに支えられてるなっていうことは、日々感じているところです。だからみなさんの前で話ができるんやろうなって思ってます。

母親に後で、何で気付いてたんって話聞いてみました。そしたら、それまでの間、六、七人ぐらい男の子とつき合って、じゃあ家に連れてきて一緒に遊ぶみたいなことがあったんですけども、家に男の子連れてきて、彼氏と一緒に遊ぶってなっても、必ずその男の子から一メートルから二メートルぐらい離れたまんま遊んでたらしいんですね。一体この子は何がしたいんやっていうのがわからなかったらしいです。今度、女の子を連れてきたときに距離が近かったから、そのうちレズビアンって言われるんやろうなって覚悟してたよみたいな話をしてくれました。親ってすごいなって、感じた瞬間でもあったんですけども、そんな感じで何となく気づいていたら幸いです。

また、このカミングアウト、周りの人に伝えたからといって、必ずしもちゃんと理解してもらえるかっていったら、難しい場合も多々あります。ほかの人に、特に勝手に伝えてしまうこと、許可なくばらしてしまうことをアウティングって呼んでいきます。これは人の命に関わることなので、絶対にやめていただくようお願いします。言わんとってって言われたら、言わないようにしていただけたらうれしいです。アウティングっていう問題、自分一人で抱えてしんどくなりそうになったら、LGBT相談窓口とか、相談ダイヤルとか、そういうところで相談してもらおうと

かは、もう本人じゃなきゃ、かけちゃいけないというわけではないので、そういうところで言ってもらったり、最近でいったら、みんなの人権一〇番とか、そういうところで相談してもらった方がいいんですけども、勝手にほかの友達にばらしてしまうとかは、命の危険があることなので、その部分は知つていただけたらうれしいなと思ってしています。

特に一番ばらされて困るのが、自分の親にばらされるっていうのは、かなりハードなことになってしまふ可能性が高いです。私のお友達は、初めて自分のことをカミングアウト、親に話をしたら、実の親から、死んでくれたほうがいいって言われたことのある友達もいます。あとは、もううちに帰ってくんなって言われて、一〇年、二〇年、家へ帰れなかったっていう友達もいますし、もうそれぐらい命にかかわることなので、そのあたりは親に言うっていうのはすごくハードなことなんやなっていうことを知つていただけたら思って思います。

身内ってなると、話が本当にややこしいので。もう特に、私もこれだけオープンにいろんなところで話していますし、親にも言っているんですけども、唯一、私、カミングアウトしてない相手が二人だけおりまして、私、祖父母にだけは言っていないですね。香川に住んでる祖父母には、毎回会うたびに、ひ孫の顔を早く見せろと言われまして、何て言っていないかなみたいな感じで、祖父母にだけは言うてないんです。香川に住んでるので、大阪でこうやって活動してる分にはそこまで情報は行かないかなっていうので、時々新聞で取り上げてもらうときにも、香川の新聞にだけは載らないようにしています。そんな感じで、愛媛までは載ってるんですけども、香

川の祖父母にだけは言わないようにしています。

どこまで言うか、どの内容まで伝えるかっていうのは自分で決めるものです。もう言わなあかんやろうみたいな感じで、カミングアウトの強要をしようとか、そういうことは避けていただけならなと思います。もしかしたら、まだどうやって伝えようかなってカンペをつくってる準備段階かもしれないので、それをゆっくりその人のペースに合わせて、ゆっくりあたたかく見守っていただけたらなと思って思っています。

一番最初にカミングアウトした人にうまく伝えられたっていうので、ちょっとずつ、もしかしたら、カミングアウトする範囲も広がっていくかもしれないし、もうここまでで止めておきたいっていう人もいたりするので、そのあたりは、絶対言わなあかんとか、言うてる人が偉いというわけではないので、絶対言わなあかんわけではないんやなっていうことを知っていただけたらなと思います。自分の好きな人を一人の人に話したら、翌日、近所中が知ってたって、なかなか怖い状況だと思えますし、そういうことにならないようにだけは気をつけていただけたらなと思います。

カミングアウトをもししてもらえたら、私だったらこんなふうに言ってもらえたらうれしいなっていうのを三つほど紹介をさせていただいております。

必ずしもこの「ありがとう」は言わなあかんっていうわけではありませんし、私やったら、こんなふうに言ってもらえたらうれしいなっていうぐらいでご覧いただけたらと思います。何

より、否定されるんちゃうかなとか、そんなんおかしいって言われるんちゃうかなとか、結構どきどきしながら話をしていたりします。言うてくれてありがとうとか、言うの勇氣いったやんな、言うてくれてうれしいわみたいなことを言うてくれたら、私やったらうれしいなって思ってます。ありがとうじゃなくてもいいっていうのは私の友達でいてたんですけども、初めてカミングアウト伝えたときに、めっちゃええやんって言うてもらって、何がどう良かったのかわかってないんですけども、すごく安心できたっていう友達もいます。なので、オリジナリティーを出してただけならなとは思いますが、何よりもその話、ちゃんと聞いたよって言うてもらえたらうれしいなって思っています。

カミングアウト、人を選んでしてるものなので、この人やったらわかってくれるかなっていうのをふるいにかけてふるいにかけて、最後の一粒に残った人に話に行ったりします。だから私は、カミングアウトしてもらったことのある人を選ばれし者とか言ったりするんですけども、それぐらい選びに選んでその人に話をしに行ったりします。ゆっくり話を聞いてもらえたらうれしいなって思います。セクシュアリティを決めつけない、トランスジェンダーやっつけて教えてくれる人がいても、うちのパートナーみたいに手術も望んでない場合もありますし、例えば、その人がバイセクシュアルだっつけて教えてくれても、バイセクシュアルの人って見てしまいうっていうよりは、一人の人間として接してもらえたらうれしいなって思ってます。

私が一番うれしいのは、レズビアンだっつけて知る前も知った後も、今までどおり、普段どおりに

話してくれる人が一番うれしいです。だから、普段どおり話してくれたらうれしいなと思うんですけども、それだけ勇気を出して話しているってことは、もしかしたら、何か困りごとがあるのかもしれない。もう知つといってもらったら、それで安心できるからええねんって、その可能性もすごく高いです。何で教えてくれたんって一言聞いてもらえたらなって思ってます。知ってもらったら安心できるっていうのかもしれないし、もしかしたら、お風呂とかも誘われてんねんけど、どうしたらいいか困ってんねんとか、教えてくれるかもしれない。

理解者、当事者、ALLYとつながるためのいろいろ情報も持つてはきたんですけど、枚方市さんもいろいろ情報をお持ちですし、いろんなつながるための情報、ネットだけじゃなくって、市役所の人が出てきてくれる情報のサイトだったりとか、そういうところまでつながれるようにしておいていただけたらなって思ってます。何より、あなたは一人じゃないよっていうことを発信してもらえたらなっていうのは、一番感じているところです。

アウティングは絶対にしない。誰に話しているか、誰に話してもいいかは、必ず本人に確認をとっていただくようお願いいたします。

これをしていただける方、良かったら味方になっていただけませんかっていうのをお話しさせてもらいます。本当にALLYとかLGBTとか、言葉がなくなっちゃえばいいかなとは思いますが、まずは、今日その第一歩として、味方になっていただけませんかという話をさせていただけます。

味方だよつていう方、今日からできることですけれども、周りには必ず当事者の方がいらつしやいます。普段から使う単語を変えてみるとか、例えば、レズつていう言葉はレズビアン略やから使つていいんちゃうんつて感じられてる方もたくさんいらつしやるんですけれども、レズつていう言葉でいじめられた経験のある方がたくさんいらつしやいます。略さずにレズビアンつて言つてもらえたほうが、この人はちゃんと言葉を選んで使つてもらえてるなつて安心できたりもします。私たち同士で話するときには、レズつていう言葉を嫌つて、レズビアンつて呼びます。それぐらい、避ける言葉だつたりするので、レズビアンつて呼んでもらえたらうれしいなつて思つてます。

おかまとかホモとかおねえとか、そういう言葉も自分のことに誇りを持つて使えるほうのゲイつていう言葉を使つてもらえたらなつて。ただ、時々、ゲイつていう言葉でつらい経験されてる方もいらつしやいますので、どんなふうに言つたらいいかなつていうのは、一言確認してもらえたらなとは思つています。元男、元女とか言われたら、いや、もともと男やしとか、もともと女やしつて教えてくれる人もいます。トランスジェンダーのほうがうれしいなつて教えてくれたりしてます。

あとは、バイセクシユアルの方、どっちもいけるとか、いや、どっちもつていうわけちゃうねんつて教えてくれたりするるので、バイセクシユアルつて呼んでいただいたり、そういうふうにしてほしいの表現を使つてもらえたらうれしいなつて思つてます。

無意識の偏見に気づく、なくす。例えば、私が彼氏いるのって聞かれた、彼氏なあっていう、何て答えていいかわからなくなるんですね。というのも、うちのパートナーは、彼氏とも彼女とも呼んでほしくないらしいんです。恋人だったらいいよって言ってくれてるんですけども、彼氏も彼女も、男性、女性というふうに区別してっていうよりは、好きな人ぐらいだったら私は答えやすいかなと感じています。ただ、好きな人がいない人もいるので、そんなこと聞いて悪かったな、ごめんって言うってくれる人が周りにいてたら、途中で会話も切らなくてもすむのかなって思っています。

男らしい、女らしいっていう言葉で嫌な経験をされた方、きっとマイノリティー、少数派の方だけじゃないと思います。そろそろ自分らしいに変わってくるころかなと思っています。

最後に書いてるところなんですけれども、途中で変わる方もいらっしやるっていう話をちらっとしたんですけれど、例えば、手術されて、戸籍の変更も終えられた後に、いや、手術前のほうが心と体、合ってたわって気づかれる方もいらっしやるぐらいなので、それはなってみないとわからないところかなって思います。レズビアンやって教えてくれてた子が、一か月後ぐらいに、彼氏できてんってもう一回言いに来てくれることもよくありますし、別に嘘ついてるわけじゃないんです。嘘ついてるわけじゃないんだけど、自然と変わっていくこともある。ただし、それを自分で変えようと思ってるわけじゃないってことは、覚えといてただけだったらうれしいなって思います。変えようと思ってるわけじゃないんだけど、自然と変わって

いくこともある。じゃあ、それで今、何か困ってることあるかとか、困ってるんやったら、どうしたらいいか一緒に考えようやって言ってくれる人がいてたら、生活する上ですごく気持ちが楽になるって思っています。

この二〇二〇年東京オリンピック・パラリンピックに向けてというのは、ちょっとおまけみたいなものになってくるんですけども、LGBT、LGBTと、最近新聞とかでよく出てくるのは、東京オリンピック・パラリンピックが、一つきっかけになってるのかなって言われています。例えば、G7の中でいうと、男性同士、女性同士のカップルさんが、きちんと社会的に男女のカップルさんと同じように保障がされてないのって、もうG7の中だったら、日本だけになってきたりとか、本当に周りの国だったら、安心して結婚できたり、あと、子どもも迎えてということを選択肢としてできてきているんだけど、日本ではまだ難しい状況にあるとか、この状態で本当に世界の皆様をおもてなしできるんかみたいなのも、一つきっかけになったりしてること、もう少しおまけみたいな感じでお話をさせていただいています。

オリンピック・パラリンピックになったからっていうよりも、次、大阪で万博もありますよね。もうLGBTもそうですけれども、いろんなマイノリティー感じていらっしゃる方だったり、同性のカップルさん、そのお子さんだったり、トランスジェンダーの方も、たくさんの方が海外からいらっしやる状況で、本当に今の日本のまんまで大丈夫なんかなっていうこととか、もし今日をきっかけに思いをはせていただけたらなって感じています。

ますし、ええって言う目で見ずに、普段どおりに話してくれるのが、何よりも私にとってはうれしいなって感じてます。

また、パートナーシップも法的な拘束力があるわけではなかったりするので、そういう法律で守られてない面もあるんやろうなっていうところが感じ取っていただけたらなと思いますし、周りの言葉で、例えばそうですね、どんな人がタイプみたいな恋愛の話になって、ちょっと困った顔をしてる人がいたら、ちょっと、まあ、そんなこと今聞かんでもええやんみたいな感じで、途中で切ってくれる人がいたら、そこまで悩まなくていいんかなとか、もうその場で会話が切れなかったとしても、会話が終わった後に、今の話つらくなかったとかって、ちょっと声をかけてもらえる人とか、そういうちょっとした気遣いがうれしいなと思うので、基本、普段どおりに接してもらおう、でも、つらそうなきがあつたらちょっと助け船を出してくれたり、あとは、困ったときにはいつでも相談に乗るからねみたいな一言があると、一番うれしいかなって思います。なので、自分が困ってるときには助けてもらうけれども、相手が困ってたら助けるだったりとか、そんな対等な関係性ができたらいいなと思っています。

○司会 ありがとうございます。そう言っていただけだと、貼っていても動きやすくなります。

○井上鈴佳 ありがとうございます。

なので、英語とか片仮名を全部覚えているっていうよりは、いろいろ言葉は難しいんですけど、最終的に人間として、人として対等に接してもらえてたら、それが一番うれしいなって、

私の場合は思います。ありがとうございます。

○司会 後ろの方からお願いします。

○質問者A ありがとうございます。二点お伺いしたいんですが、聞いていいかどうか、ちょっとどきどきしながら、答えられる範囲で、失礼な質問にならないことを祈りますけれど、お聞きしたいと思います。私ちょっと大分混乱してまして、ご自身のこともですけど、パートナーのことを説明してはることが私にはちょっと理解できなくて、何だか、多分女性で生まれてはつても、恋愛はレズビアンってのはつきりおっしゃってるような、だけど、その方の性の認識とか、多分恋愛とセックスももしかしたらねじれてるかなとか、自分の性自認と言うんですか、それとなんかいくつかの項目があるか忘れちゃったけど、それがちょっとよくわからない。

○井上鈴佳 そうですよ、ややこしいですよ。

○質問者A レズビアンだっておっしゃってるので、そこのとこ、それだけはわかった。あとがちょっとわからなくなってるのが一つなんです。もうパートナーの方なので、それは、もし説明していただけたらっていうことが一点。

もう一点、すみません。例えばこの枚方市とか、あるいは私がいろんな活動をしてるとして、アンケートなんか実施する際に、性別欄って、これはまあ戸籍でも何にでもつきまとして免れないですけどね、それが必要かどうか。何で男子が先なんって表明したこともあるんですが。まあ、性別欄に記入することをすぐくためらう方もいらっしやるんじゃないかなって、女とか男とか、

そういう枠組みじゃなくて、自分らしさを認め合っていきたいっておっしゃったような気がするんですけど。日本では、今のところ、私を知る限り、性別欄って結構あると思うんですけどね。海外なんか、おっしゃってるように、いろいろそれについて先進的な動きがあると思うんですけども、そういう、例えばアンケート、戸籍、住民票なんかも含めて、性別欄の扱いはどうしてののか教えていただけたら助かります。

○井上鈴佳 ありがとうございます。

まず、一つ目なんですけれども、私とパートナーの関係で混乱される方はすごく多いんですけども、私とパートナーの間でも大丈夫かなっていうのは、すごく思っていました。というのも、私がパートナーと友達の期間が一年半ぐらいあったんです。その期間の間に、パートナーに、私もし告白したとしたら、女性として見られてるかなと思っ嫌な思いをするんじゃないかっていうので、私は告白できなかつたんですね。パートナーはパートナーのほうで、自分は男のほう割合として心は強いから、自分が言うことで、レズビアンなのに女性というか、女性としてというか、こんな自分でいいんかなみたいな感じですが、すごく迷ってて、お互いに言えなかつた期間が一年半ぐらいあったんです。うちのパートナーから告白してくれた言葉も、自分を恋愛対象として見てもらえるみたいな質問の形で聞いてくれたんですけれども、私も、えっ、そう見ていいのみたいな感じで、お互いにその確認に一年半かかかったっていう印象なんです。

でも、私は、体が男性ってなってる相手とつき合っているとときは思うんですけども、手をつ

なぐあたりとかも本当にだめだったのが、うちのパートナーの場合は大丈夫だったんです。だから、戸籍というか、体つきで女性的なパートナーだったら、心の部分は、私の場合はなんですけれども、八割男性でも大丈夫だったみたいです、つき合ってみたら。なので、お互いになんてかみたいな期間はしばらくあったんですが、つき合ってみてから、ほかの人に言われるのは、「えっ、まだつき合ってたかったん」ってよく言われます。

今もそんな、二四時間、三六五日、Xジェンダーとかトランスジェンダーとか、気にしながらつき合ってるわけじゃないので、私も言われたくないほうの名前では呼ばないだったり、普段、気をつけてることってそれぐらいのようになって。

だから、私の場合は、体が女性的なパートナーだったら大丈夫だったらしいです。でも、レズビアンの方でも、そうじゃない人もたくさんいらっしゃいますし、それは場合によって違うのかなど。だから、私が表現するときにも、レズビアンって言って大丈夫っていうのは、パートナーに確認をしたうえで話しているっていう状況なので、私とパートナーの間では了解がとれるような感じなのがこの二人の関係なんですけど、もう考え出したら、本当に頭がこんがらがってくるんですけど、好きな人は、別に心が男性のときでも女性のときでも変わらないらしいので、好きだったら好きでいいんかなみたいなものに、最終的には落ちつききました。そんな感じの印象です。

二つ目の性別欄の部分なんですけれども、最近は市役所とかも、書類で本当に性別を聞かなあ

かんのかなというので、不要な性別を聞くところはなくしていこうっていう形になってきている、その流れにある状態になってます。

あとは、男性、女性って書かれたら、例えば私の友達でもいるんですけども、「男・女」って書いてたら、「・」のところに丸する人、でも、どっちも丸したくないっていう人もいたりとか、うちのパートナーは、体のほうの女性のほうで、もう諦めてるからええねんって丸してる人とかいろいろいるんですけども、自由記入、もしくは書かなくてもいいですよみたいな形で、どうしても必要なときでも、それをわざわざ役所のほうから、女性ですね、男性ですねというふうなことはしないでおきましょうみたいな流れになってきている状態、その過渡期なのかなって感じているところです。なので、本当にこのアンケートとかで、ここで性別を聞く必要ないんかなって思ったら消してもらおうとか、そうしてもらえたらうれしいなと感じています。ありがとございます。

○司会 ほかにご質問ある方、いらつしやいますでしょうか。

○質問者B 感想と質問でもいいですか。感想は、自分のことを正直に、たった一人の人に伝えていくことでも、この人やったら大丈夫だということ、やっぱり本当を選んで、最後のふりにかけた一粒を、だから、カミングアウトされた人は、何かいいものを持っているんだなっていうふうにおっしゃって、すごくいいお話だし、あなた自身が、こういうたくさんの人がいる場で、自分のお話を笑顔でされることがすごく爽やかやなと思いました。

カミングアウトというのは、僕も昔から知ってる言葉で、LGBT以外でも、昔から部落差別とか、在日のこととか、そういう方にとっても自分の出自であるとか、民族性ということをお切な人に話ししていくのがカミングアウトと言ってきましたし、今も言うてるし、とても勇気がいることだというのは一緒だなとお聞きしました。

「ご両親に対して自分のことを正直に言うということは、やっぱりとても大変だということ、それもすぐわかります。そのときお母さんが、そうじゃないか思ってたということと、お父さんがどう受けとめはるんかなとよく聞いてたら、まだ十分に理解はできてへんけれども、理解に努めるいうことで、こういうときに非常に違う厳しい反応をされることも多いのと違うか思っくんやけれども、お父さんが、そうおっしゃったというんは、ああ、いいお父さんなんだなと思ったのと、隣近所の関係とか、あるいはご両親が外での仕事を持つてるときに、娘さんどうやと聞かれたときに、親自身が、どういうふうにも勇気が持てるんかということにもなってくるかと思っくんですけれども、あなたのご両親の場合は、そこはどうなんでしょう、それが質問です。」

○井上鈴佳　ありがとうございます。本当に感想を教えてください、今日話して良かったなあって思います。ありがとうございます。

うちの両親は、母親のほうは、もう言うてええねんって言うふうに言っていて、こんだけ広報紙にも大々的に出てるので、もうそんなふうに生きてるらしいねんみたいな感じで、近所の人にも言うてくれてるみたいです。なので、母親のほうは、何か頑張ってるみたいやと言ってもら

えて、それはそれでいいんかなって話もしてくれているんですけど、父親のほうは、職場であんまりプライベートのことを話すほうではないので、そこはあんまり言っていないかなと感じています。

でも、母親にしても、父親にしても、レズビアンであるっていうことを一〇〇%理解できるかっていったら、やっぱり難しいところはあるって言ってます。ただ、うちの娘であることには変わりないからなあって言ってくれています。本当に友達とかだったら、家出されてっという子もいてる中で、すごく恵まれた環境にいてるなって思いますし、その環境にいてて、特に子どもたちもそうですし、こうやって皆さんのように、きちんと話に耳を傾けてくださってるからこそ、私がか今ここでいてるんやなっていうふうに、やっぱり周りの環境が全てかなって感じています。本当にありがとうございます。

○**司会** ありがとうございます。ほかにご質問ある方、ぜひお願いします。

○**質問者C** すみません。すごくシンプルな質問なんですけど、銭湯とか大浴場に行くときに、もしそのパートナーのような方が女湯にいらっしやったら、それを知らなかったら何とも感じないんですけど、例えば、女湯に男の方がまじってるみたいな感覚を受けるといえるか、だから、私たちはどうしたらいいのかなという、逆にパートナーの方もどういう気持ちで入られるのかなど、困るんじゃないかなと思いました。

○**井上鈴佳** ありがとうございます。

うちのパートナー、温泉好きなんですけれども、やっぱり女湯に入るっていうのは、最初は抵抗があったらしいんです。でも、うちのパートナーの場合は、職場ではかわいい女子社員さんとして振る舞ってるんですね。だからその積み重ねてきたもので、女性として振る舞うことをずっと教えられてきたというか、ずっとその練習を続けていってるような感じになってる感覚やっを教えてくれるので、女湯に入ってる時も、今は女性として振る舞ってるっていう感じの仮面をかぶってる感覚でいるらしいです。

でも、本当に信頼してる人には、自分の本当の姿を知ってほしいって言ってくれてるので、外で働いてるときにはかわいい女子社員さんとして、「私」として言ってるんですけども、家に帰ってきたら、自分のことは「俺」って言ったり、自分の中でも、オン、オフの切り替えを、ずっと成長していく中で身につけていったっていうことは教えてくれています。なので、結構どきどきしながら入ってるのは入ってるんですけど、何か悪いことしたいわけではなくって、ただ単に温泉を楽しみたいだけなので、心が八割みたいな感じっていうよりは、もう女性として振る舞ってるから、女性として温泉に入らせてほしいなっていうのが正直なところやって教えてくれています。

でも、やっぱり、振る舞うのもっていう方もいらっしやるので、温泉とか旅館に露天風呂つき客室とか、そういうところだったら入れるよっていう友達もいたりします。なので、入りやすいお風呂も人によって違うみたいです。ありがとうございます。

○司会 ありがとうございます。

○質問者D 子どもたちの授業でそういう話しされているのは、本当に大事なことやなと。私たちもやっぱり考えを変えていかないといけないなっていう、すごく感じる事ができました。ありがとうございます。

二、三日前に、BSで、スウェーデンのアバのダンスingtクイーンっていう曲の話が出て、その歴史的なこともしてたんですけども、LGBTの人たちのテーマソングになつて言うてたんですけども、やっぱりそういう歌をそういう集まりでよく歌われてるんかなと思つたんですけども。それと、先ほどスクリーンに、保健の本の写真が出たときに、もう保健でもこういうことも扱われてるんかなと思つてたら、逆だったので、やっぱり日本の国のそういう教育とか、まだまだやなつて思いました。

それと、やっぱりメディアが与える影響がすごく大きいん違うかな思うんですけども、ちょっとその辺についても、もう少し詳しく教えていただけたらなと思います。よろしくお願いします。

○井上鈴佳 ありがとうございます。

アバのダンスingtクイーンとか、理解してるよっていうふうな曲も歌うことは歌うんですけども、でも、特に関係ない曲もよく歌つてたり、どっちかというところ、ちゃんと味方だよって言うてくれる人の曲やったら好きやんっていう人は多かったです。なので、芸能人の方でもちゃんと理解を示してくださつてる方もたくさんいらっしゃるの、そういう人たちがいたら

すぐ勇気づけられるなって思っている一方、やっぱりメディアでは、おもしろおかしく取り上げられてるところだけを知ってる子どもたちもすごく多いので、例えば、ドラマでゲイの人が出てくるとなったら、すごいピックアップされて注目されて、主人公かその回の主役みたいな感じで取り扱われることが多かったりするんですけど、それ以外にも、ただ単に街を歩いている通行人とかでゲイカップルさんとか、レズビアンカップルさんが映ってるかっていったら、海外のドラマみたいに映ってることは、多分、日本ではまず難しいんじゃないかなってというのが現状かなって思います。

だから、特別取り上げられるっていうよりは、例えば、ちょっと主人公の親友がゲイだったみたいな感じとか、ゲイカップルさんがそろそろ養子を迎えようかみたいな話をしてたりとか、そういう特別粹っていうわけじゃなくって、登場人物がたまたまゲイだったとか、たまたまレズビアンだったとか、そういう取り上げられ方っていうのが、まだ日本ではできていないのが現状なのかなと感じています。

なので、もちろん取り上げられてる方で、それを職業にされてる方もいらっしやることはいらっしやるんだけど、それ以外の人でもいっぱいいるよっていうことをもうちょっと取り上げてくれてたらうれしいな。最近、NHKではちょこちょこ増えてきたんですけど、なかなか特別粹から出てこないのはあるのかなって印象はあります。

きのう何食べたとか、晩御飯何つくろうかみたいな感じのゲイカップルさんのドラマとか、い

いドラマがテレビで放送されたりはしてて、あつ、これいいやんと思っただんですけども、深夜枠なんですよね。子どもたちが見れる時間じゃないわって、別に下ネタとか入ってないんだけれども、深夜枠にされてたり、もうちょっと子どもたちにも身につくような形で、何も違和感ないんだよって感じの扱われ方がしたらいいのになって感じています。

○司会 ありがとうございます。ほかにご質問のある方、いらっしやいますでしょうか。

○質問者E 先ほどのカミングアウトのことで、私は今、この四、五年、ハンセン病の回復者の方とつながりがあって、ハンセン病のことについて考えているんですけども、この間、ハンセン病の家族の方で、五〇〇人以上の方が原告で、ハンセン病の回復者の当事者が差別をこうむったのはもちろん、家族も結婚とか就職後に深刻な被害を被ったというのを国に認めなさいという訴訟を起こして、この間、勝訴判決が出て、それはすごくよかったな思っています。原告の人が五〇〇人以上いる中で、自分の名前を匿名じゃなくて明らかに、いわゆるカミングアウトしながら国家と闘った人がごくわずかなんです。だから、そう考えていくと、いかにこの日本の社会はそういう少数の方が自分の立場を表明することが困難な社会かと痛感するんですけども。

LGBTの方も自分のそういう立場性というか、それをカミングアウトできている人は、氷山の一角というか、本当に少ないんかなと思っんですけども、その辺の現状はどうなんでしょうか。

○井上鈴佳 ありがとうございます。

本当に氷山の一角っていう表現が全てをあらわしてると思っています。私の友達で同級生の人、

私以外に言ってる人は一人もいませんし、授業した後にはほとんどの学校さんで、自分もそうやって言ってくれてる子の中でも、大分世代が若い子の中だったら言っても大丈夫かなっていう子は増えてはきているんですけども、ほとんどの子は、教えに来てくれるときも耳打ちで相談に来てくれたり、泣きながら来てくれる子だったり、絶対ここに来てくれることはばらさんといえなくなってくれる子がほとんどですね。なので、こうやって表現してるのは、本当ごくごく一部だっということは知つといていただけたらなって。だから、周りからぱつと見てわかるかっていったら難しい問題でもありますし、気軽に話をしてたら、実はっていうので、ああ、あんなこと言うてしまったって後で後悔をされている方の話もよく伺いますので、ちよつと頭の片隅にでも、いろんな人がいてるんやっということを知つといていただいたうえで話ししていただけたら、こちらも助かるなって思います。彼氏とか彼女とかのこともそうですし、本当にいろんな人がいる中で生きてるんだっというのを、いろんな人に知ってもらおうというのは、すごく大事なことになるだろうなって思っています。

以前、小学校で一回授業させてもらった後で、中学校で会った子は、クラスの全員の前で言っていましたし、そういうふうに見える環境もちよつとずつはできてくるのかなと思いますし、この前会った、中学三年生のときに会った子なんですけれども、「私が総理大臣になって、結婚できる日本にしたるから、待つとってな」って言うてくれた子がいました。今、高校一年生になって、先日、授業でもう一回会ったんですけれども、そういう子たちが、将来、日本を変えてい

ってくれるのかなっていう、そこに期待をしたいなっていう気持ちもあったりします。

なので、オープンにしてる子もちょっとずつは増えてきているような印象は受けてるんですけども、ほとんどの人は本当に隠してる状況かなって印象としてあります。ご質問ありがとうございます。

○司会 ありがとうございます。ほかに何かご質問はございますでしょうか。ないようでしたら、これで質問を終わらせていただきます。

それでは、本当にお忙しい中、今、ご講演いただきました井上先生にもう一度大きな拍手をお願いいたします。

(拍手)

それでは、これで本日の講演を終わります。どうもありがとうございます。

